



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和5年5月1日

5月号

NO. 598

校長 大久保仁晶



これからのコロナ対応について

桜は終わりましたが、つつじやPTA園芸の皆さんが植えてくれた金魚草などの花が初夏の成長を感じさせ、明るい気分させてくれる今日この頃です。そして、ゴールデンウィークも始まります。楽しむとともに、この1か月の疲れも回復してください。

4月のスタート当初の10日(月)～21日(金)に今年度初めて取り組んだ「春の校外見守り週間」に多くの保護者が参加していただき、ありがとうございました。車や自転車の通りが多い学区です。地域・保護者の皆さんが見守っていただけることが子どもたちにとって大きな安全となりました。見守り週間は終わってしまいましたが、これからも何かの折には交通安全にご協力をお願いします。(先の話になりますが、夏休み明け、冬休み明けにもありますので。)また、この見守り期間は、「おはようございます」のあいさつにも効果があったのではないかと考えています。今年も1年生には入学式で「あいさつ」の話をしました。地域の皆さんは子どもたちのあいさつを楽しみにしています。これからも、黄色の見守り隊のベストや帽子を見たら、感謝の気持ちを込めてさわやかなあいさつを続けてください。

さて、新型コロナウイルス対応にも変化のある5月となります。学校では4月からマスクの着用については、「着用を求めないことを基本」とする対応になりました。この8日から、2類から5類に引き下げとなります。これからの学校生活にもいくつか変化があります。

今まで毎朝提出していただいた健康観察票は5月より確認が不要となりました。(自分自身の健康チェックを行う手段として、茅ヶ崎市のHPには掲載されています。)また、運動会では保護者の人数制限をなくし(保護者証はつけていただきます)、保護者の入れ替えもなくし、すべての学年の種目を見ていただこうと考えています。6月の授業参観も分散ではない形で行う予定です。また、水泳指導も今年度は実施の方向で計画を進めています。少しずつ、元に戻せるものはコロナ禍前の状態に戻していければと思っています。

もちろん、新型コロナウイルスの脅威が全くなくなった訳ではありません。そして、様々な事情により、マスクの着用を希望したり、マスクを着用できなかつたりする児童もいることから、マスクの着用の有無による差別・偏見等がないように適切に指導を行います。マスクをつける、マスクをつけない、それぞれの立場を尊重する多様化の考えを大切にしていきたいと考えています。

新型コロナウイルスへの対応が始まってから3年が経ち、今まではなかなか行えなかった保護者・地域の皆様との連携を、今年度はより深めていきたいと思っています。



学校に来た際には、ぜひご覧になってください。